

事務事業マネジメントシート(平成30年度実績と平成31年度計画)

令和 2年 2月 20日 更新

事務事業名		教育長交際事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	3	教育の健康			所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	右田 純司
	施策	9	義務教育の充実			所属課	学校教育課	担当者名	齋藤 正典
	施策の柱	32	指導力の向上			所属班	総務施設班	(内線)	5312
予算科目	会計一般	款 10	項 1	目 1	事業連番 11596	根拠法令	地方教育行政の組織及び運営に関する法律 教育長交際費の支出及び公表		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 30年度で終了 <input type="checkbox"/> 30年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 25 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	教育行政の円滑な運営を図るため、教育長が教育委員会を代表し、外部の個人又は団体と交流を行う。社会通念上必要と思われる範囲内で、慶祝、弔意、見舞い、激励、行事出席の会費などを支払う。従来「教育委員会議運営事業」の中に含まれていた教育長交際費等を、平成24年度事業仕分けの意見により、平成25年度から単独事業として分離創設した。平成24年10月より市ホームページ及び情報公開コーナーで交際費の支出状況を公開している。
【業務の流れ】	①各種団体等からの案内状対応、外部団体への視察研修、慶弔確認などを行う。 ②意見交換のための懇談会費、会議等の会費、見舞金、外部講師に対する手土産などを社会通念上必要と思われる範囲内で支払う。
【主な予算費目】	交際費、役務費、使用料及び賃借料
【意見や要望】	平成24年8月開催の合志市事業仕分けにおいて、教育長交際費は「教育委員会議運営事業」に含めるべきではないとの意見があった。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 30年度実績(30年度に行った主な活動) (DO)	31年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)	
講演会講師、視察先団体への手土産、式典の祝賀会、慶弔レタックスなどの支払いを行った。	教育長の懇談会、会議等の会費及び視察先団体、講演会講師・会議の司会者への手土産、弔慰金などの支払いを行う。	
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 件	予算の主な増減の理由
→ア: 支出の件数		教育長は専用の運転手や公用車がないため、タクシー代を例年計上しているが、使用実績等を精査したための使用料及び賃借料の減
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位) 件	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
→ア: 交流を行った個人、団体		→ア: 交流を行った個人、団体の件数
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位) %	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
→ア: 外部の個人、団体と交流を行うことで、教育行政に反映することができ、市の教育が活性化される。		→ア: 目的どおり支出された割合
*③成果指標設定の理由と31年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
教育長交際費の支出及び公表に関する取扱規程に基づく。		全体計画
		~ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	28年度実績(決算)	29年度実績(決算)	30年度目標(当初予算)	30年度実績(決算)	31年度目標(当初予算)	2年度予定	3年度見込	4年度見込	
① 活動指標	ア 件		13	17	10	20	10	10	10	10	
② 対象指標	ア 件		3	8	6	7	6	6	6	6	
③ 成果指標	ア %		100	100	100	100	100	100	100	100	
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	(A) 事業費計	一般財源	千円	51	61	129	60	109	109	109	109
		(A) 事業費計	千円	51	61	129	60	109	109	109	109
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(B) 人件費計	千円	0	2,215	71	2,010	71	71	71	0
人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2	2		
	延べ業務時間	時間	18	560	18	510	18	18	18		
トータルコスト(A)+(B)	千円	51	2,276	200	2,070	180	180	180	109		

事務事業名	教育長交際事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	学校教育課
-------	---------	-----	-------------	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は30年度の事後評価、ただし複数年度事業は30年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①30年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②31年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 適宜必要に応じた支出を行っているため達成は可能
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 「教育長交際費の支出及び公表に関する取扱い規程」に則っており向上の余地はない。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業はない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要最小限で実施している。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要最小限で実施している。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 「教育長交際費の支出及び公表に関する取扱い規程」に則っており、公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 教育行政が担うべき業務である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

必要に応じた支出を行っており「教育長交際費の支出及び公表に関する取扱い規程」に則った運用ができています。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						